

ERFC 清里ミーティング告知号

清里ミーティングへのお誘い

新型ロードスターも発売から1ヶ月。もしかしたらそろそろ納車されたと言う人もいないでしょうか。暑さも一段落したこれからの時期、ドライブには絶好の季節となりますね。

さて、秋と言えばERFC清里ミーティングです。今年は新型の登場もあり、皆さん聞きたいことがいっぱいウズウズしていることでしょう。もちろん私もその一人です。

まだ確約こそできませんが、今年も（今年こそ？）開発関係者のお話を直接うかがえるようお願いしているところです。NAからNB、そしてNCへ。なにを変え、なにを変えなかったのか。その目で確認してください。

実を言うとまだ私は実車を見てはおりません。雑誌の、そして周りの評判を聞いて期待だけがむやみに膨らんでいる状態です。（笑）

おそらくこの号が発行される頃によりやく広島某所で実車を見ているかと思います。まだ予定段階ですが、清里でも展示車両を用意してもらえるかもしれません。

そして例年のようになんでもコンテストやスワップミートも開催します。

とまあ、なんだかんだでいつも通りの清里ミーティング。今年も皆さんのご参加をお待ちしています。

（清里ミーティング実行委員長：豆蔵）

【第16回E.R.F.C.清里ミーティング概要】

開催日 2005年11月6日（日曜）
時間 10:00～15:00（雨天決行）
会場 （財）キープ協会 清泉寮
（山梨県北杜市高根町清里）
募集台数 100台（ゲスト・スタッフは除く）
参加資格 ロードスターを愛する人なら誰でもOK
参加費用 お一人様\5000
（18歳以上：お弁当代・寄付金含む：同伴者同額）
#参加費は当日会場でお支払いください。



18歳未満の方は参加無料ですが、お弁当が必要な場合はご相談ください。

このイベントを開催するにあたり、毎年多大なご協力をいただいていますキープ協会は、創設者の故ポール・ラッシュ博士の想いを引き継ぎ、環境問題や国際教育などに力を注がれている団体です。

E.R.F.C.は、この趣旨に賛同すると共に、会場となります清泉寮とその周辺、さらにはキープ協会がこれまで守られてきた美しい八ヶ岳の風景をも「お借りしている」と考えています。そのため、「施設使用料」の代わりとして、参加費の中からイベント運営費とは別に、お一人様につき1000円を寄付させていただいております。

またご同乗者さまも参加者として運転手の方と同じ扱いとさせていただいておりますので、参加費も同額としております。どうかご了承ください。

【応募要綱】

○ 申し込み方法は次の二通りの方法があります。どちらかご都合の良い方をお選びください。

1. ハガキによる申込み

『車1台につきハガキ一通』でお申込みください。

ハガキに

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号（申込み内容の確認をすることがあります）
- ◆ お名前
- ◆ 乗ってくる車の型式（NA / NB / NC）とナンバー（ロードスター以外の方は車名も）
- ◆ 参加者数

（18歳未満でお弁当が必要な方はその旨と人数を。なお席数の都合上、18歳未満でも事前に参加者登録していただかないと会場に入れないことがあります）

を必ず明記してください。

応募の宛て先

〒362-0071 埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方 E.R.F.C.事務局

2. e-mailによる申込み

『車1台につきメール一通』でお申込みください。

メールの題名の先頭に「清里申込み」と入れてください。

メールの本文に

- ◆ 郵便番号、住所、電話番号（申込み内容の確認をすることがあります）
- ◆ お名前
- ◆ 乗ってくる車の型式（NA / NB / NC）とナンバー（ロードスター以外の方は車名も）
- ◆ 参加者数（注意事項はハガキの場合と同じ）

を必ず明記してください。

応募の宛て先 : info@erfc.sakura.ne.jp

○締切り

ハガキ、e-mailとも10/28(金)必着です。

ただし申込み台数が100台を超えた場合はそれより前に締切
る場合があります。

○受付の確認

10/1以降、ハガキまたはメールの到着後7日もしくは
11/2(水)までに受付確認用の資料を郵送します。もしそれを過ぎ
ても連絡の無い場合はハガキまたはメールでお問い合わせくだ
さい。

また残念ながら受付をお断りする場合は必ずこちらからご連
絡します。

○注意

締め切りをお守りください。

申込み内容や申込み方法に不備がある場合、無効になる場合があります。

ご不明な点やご質問は、ハガキまたはメールで事務局までお願い致します。

なお、本応募要綱等はERFCのホームページ（<http://erfc.sakura.ne.jp/>）でも見るができます。

ではスタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしております。



さて、せっかく清里ミーティングに参加するならもっと積極的に自己主張してみては？！ということで、なんでもコンテスト担当者からもお誘いです。

「なんコンは清里ミーティングのすべてである（誇大広告）」

はい、なんコンです。もちろん？今年もやりますよ。皆さん、準備の方はいいですか？

ロードスターも3代目の登場となって、その世界がますます広がりを見せることになります。そうなるのであれば、参加者の皆さんのロードスターに関する熱き血の滾りじゃない、熱き想いはより一層、深く大きくなっていくのではないのでしょうか。なんコンはそうした想いを参加者の皆さんが、いろいろな形に変えて世に？問う場でもあります。NA、NB、もちろんNCだってかまわないのです。

ロードスターに関する一途な（妻や恋人や娘息子よりも？）気持ちをぜひ、なんコンでアピールしてみてください。きっと会場の参加者の皆さんから、歓喜に震える感動の叫びを耳にして共に喜び合えることは間違いないはずです。

皆さんの参加をお待ちしています～

いつものようにロードスターに関するものであるならば、どのようなものでもかまいませんが、会場展示の都合上、机の上において置けるものに限らせていただきます。立てかけての展示など不安定なもの、ひどく場所を占める展示物などは安全上問題ともなりかねませんので、ご遠慮させていただく場合があります。

（なんコン担当：ふじい）

おなじみ！初心者の会 ～さて、今回のネタは？！～

季刊を通り越して年度刊になりそうな初心者の会。ごめんなさい。ごめんなさいついでに？今回は自分で作業をするお話ではありません。

もうかれこれ5年くらい？前から、足回りを交換したいなぁと思っていました。あちこちのサイトや本を眺めては溜息をついておりましたが、ついに今年の4月に交換しました。ようやく、まとまった距離にも乗れたので、ここに（妻も知らない！？）交換までの顛末を大公開しましょう！（風呂敷広げすぎです。）

さて、もともとのビルシュタイン（私のろどすたはSリミテッド（NA）です）自体にはそう大きな不満はありませんでした。ただ、さすがに経年変化には勝てず、最近あまりショックとしてのお仕事してくれていないなぁと感じつつありました。それにも増して、Sの足は我が家の使い道には硬すぎる、というのも日々感じていたこと。

ただ、そうやって相談すると「じゃあ標準の足にすればいいじゃん」ってほとんどの人がアドバイスしてくれます。

そりゃそうだ、当然だよねっとは思いますが、、どおも、つまないんですよ、それじゃ。折角そこそこのお金出して新しくするんだから、標準でいいよとは決断できない貧乏性・・・

そんなこんなで数年にわたりいろんな方に相談していると、必ず聞かれる「どんな風にしたいの？」という質問への回答を自分なりに整理してみた結果は、こんな感じでした。

- ・車高調にする気はない（車高を下げようという意欲がない！）
- ・乗り心地は今より良くしたい、猫足と呼ばれるように。。
- ・オー〇ンズは多分高くて手が出ないぞ（でも前に乗せてもらったのは乗り心地良くて驚いたなぁ）
- ・できればビルシュタインじゃないのがいいかなぁ（なんとなく）

うーん、自分で書いててもよくわかんないっすよね。（嘲笑）

そもそもこういうチョイス自体があまりメジャーじゃない様子で、多分サンプル数も少ない

のでしょう・・・だから何年も掛かったんですが。

そんな中でもめげずに雑誌の広告見たり様々なサイトを見たいとある時、ふっと浮かんだキーワードがありました。それは、

「コニ」

おお、コニっすよ、コニがほしい！

いや、根拠なんて大してないんですが、それでも思い出すのは十数年前。ろどすたが発売された当時にちょっと流行りましたよね、コニのGPにレーシングビートのバネっていう組み合わせ。

なんとなくカリフォルニアの風が吹くような（意味不明）、あの黄色いショックがいいなあって思ったのです。黒いボディにも良く似合う！って外から見えないか。ま、いいや。（ここまでたどり着いたのが去年の暮れのことです。）

さあ、そうと決まったら話は早い、コニ（しかも黄色いショック）に絞って改めてチョイスをはじめたらいくつかヒットしてきましたが、その中から今回選んだのが、Stageという新潟は長岡にあるショップのオリジナルキット。その名もスーパーチョコバナナ！

何でそう呼ばれるか知りたい方は、ぜひお店のサイトで写真を見てください。

コニの黄色に茶色いBESTEX製のこげ茶色のバネ。名は体を表してるでしょ？



バネレートなどはショップのオリジナルだそうで、ストリート（乗り心地や取り扱い易さ）をターゲットにしたキットだそうです。ロードスターのサスペンションの機能を十分に使うことを最優先し、ゆえに車高とかはあまり気にしていないから若干上がることもあるという

ことでした。もちろん気にしないので問題ありません。

これで決まり。もちろんイチバンの決め手は名前です。（ちょっとホント）

この時点で1月末でした。意を決してお店にメールしたのですが、なんとバネの在庫が切れていて、現状では納期が不明だということです。でも今更悩みなおしても同じ結論だろうということで素直にそのまま予約しました。

さて、納期が決まるまでの間にCリング加工を追加するか否か悩むことになります。このキットの基本はNAの仕様なのですが、今回NB用のアップパー（バンブラバーやダストブーツも）を利用するための位置にCリング加工してあります。しかし、当然仕様による車重の差や個体差によっては車高が高くなったり低くなったりは有り得るということなので、好みの車高に近づけるためにCリング加工をしてくれるということなのです。いくら車高は気にしないとはいえ、あまり上がりすぎちゃってもなあとしばし悩みましたが、結局加工してもらうことにしました。根拠は「後からじゃできないやね」ってことで。

結果から言うと、今は標準の位置で使っているので加工しなくてもよかったのですが、まあ今後気が変わるかもしれないですし。

さて、3月末にお店からモノがそろったと連絡が来ました。なんでもバネ屋さんの方への線材の入荷が一時期完全にストップしていたために遅れてしまったとのことですが、そもそも5年くらいほっといた案件ですからね、全然気になりませんでした。



レディース通信

もうすぐ清里ですねえ。わが家は大の清里ファンで ERFC ミーティングの時季以外も四季折々に清里を訪れています。子連れなので楽しみ方はアットホーム。そんな私たちのお勧めスポット（というか好みもあるので外れじゃ無かったよ、程度で受け止めてくださいね。）をご紹介します。まず、宿泊するなら「ペンションにちようび」がお勧め。ファミリー向けの5部屋しか無いこじんまりしたペンションです。プレイルームの遊具は清潔で木製のものが中心。ご飯も美味しいしアレルギーのお子さんには除去食も作ってくれます。お風呂は大きくて家族でゆったり入れますし小さいお子さんとのんびり過ごすにはうってつけのお宿ですよ。

わが家がはじめて行ったのは今5歳の息子虎太郎が10ヶ月の時。虎太郎はオーナー夫妻を「にちようびのじいじ、ばあば」と呼び、清里＝ペンションにちようびだと思っています。初めて歩いたのもこのペンションのリビングでしたっけ。懐かしい思い出がいっぱいの場所です。子連れで清里にいらっしゃる方で「いいかもな」と思った方、ぜひ尋ねてみてください。ホームページもありますよ。
《<http://www.eps4.comlink.ne.jp/~nitiyobi/>》さて、次は美味しいもの。清里から須玉インターに下っていく141号線沿い、須玉に向かっていくと右手に木製の看板に「森ぴか」と書かれた看板が目に残ります。ここ、お蕎麦屋さんです。中には絵とか作品が飾ってありギャラリーっぽくなっていて「森のピカソ」を略して「森ぴか」となったらいいです。オーナーさんは山梨の老舗「奥村」で修行したらしいです。水は地下100mから汲みあげた八ヶ岳の伏流水。粉は一番粉。季節によってそば粉の産地を変えたりするんですって。実際美味しいお蕎麦でした！このお店のいい所は不定休なんですけど営業日は夜9時くらいまでやっているところ。清里の帰りにぜひお寄りくださいませ。高根の湯まで行ったら行き過ぎですからちょっと戻ってくださいね。わが家は子連れということもあり安心できる行きなれた店に偏りがち。こんな記事を書いておいてなんですが皆さんが「こんなところも子連れで楽しいよ」というところがあったらぜひ教えてください。

(さっちゃん)

編集後記

さて、最後になって大変な盛り上がりとなっていた（名古屋周辺だけ？）愛・地球博ですが、この号がお手元に届く頃には閉幕を迎えているでしょう。

閉幕の3連休ですか？！私はもちろん現地のにぎわいに・・・参加してないんですよ、これが。最終日であるその時、私は広島でJ58Gのイベントに参加していることでしょう。長久手町が迎える合戦以来のにぎわいをこの目で観られなくて非常に残念です。はい。(^^;)

その愛知万博。全期間を通じてほとんどのパビリオンを見ることができましたが、最後にはまったのが長久手愛知県館。ここでは「地球タイヘン大講演会」と称した出し物が演じられていたのですが、それは日立やトヨタのようなハイテクなものではなく、生身の役者による芝居。ただただ同じ内容の芝居を3人の役者を中心として会期中3300回以上行うと言うもの。県のパビリオンだし、講演会などと聞くと野暮ったいものを創造しがち（事実、自分もそうだった）なんですけど、これがさにあらず。愛知万博のテーマに沿いながらもずっと気楽に時折笑いも起こるような内容で、さらに生身の舞台だけあって観るたびに何か発見があって面白かったんですよ。ほんとに最後のほうはこれを見たいがためだけに通っていたといっても過言ではありません。(笑)

結局、ハイテクもいいけど、最後は人間の感性にどう訴えるかなのかな、と。

そんな思いでふと見ると、まさにロードスターこそ以前からそう言う世界を体現しているではありませんか。そして今度のNCもこれまでに聞いた限りではそう言う点は外していないようで安心しています。

でもまあ、やっぱりまずは見てみないと、乗ってみないと・・・ですけどね。

そんなお話を清里でできますことを皆さんとも期待しています。ではぜひ清里でお会いしましょう。

(編集担当：まめそう)



ERFC Newsletter
ユー/スロードスターファンクラブ通信

2005 Vol. 3

2005年 9月 25日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp